

(6) 年齢構造指数 (表7)

ア 年少人口指数 (生産年齢人口100人に対する年少人口数:年少人口/生産年齢人口×100)

20.4 前年と変わっていない。

イ 老年人口指数 (生産年齢人口100人に対する老年人口数:老年人口/生産年齢人口×100)

38.9 前年に比べて1.6ポイントの上昇となった。

ウ 従属人口指数 (生産年齢人口100人に対する従属人口数:従属人口/生産年齢人口×100)

59.3 前年に比べて1.6ポイントの上昇となった。

※ 従属人口:年少人口+老年人口

エ 老年化指数 (年少人口100人に対する老年人口数:老年人口/年少人口×100)

190.7 前年に比べて7.6ポイントの上昇となった。

平成16年に100を超え、さらに上昇を続けている。

表7 年齢構造指数の推移

年次	年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
昭和54年	41.7	8.7	50.4	20.8
55年	41.0	9.0	50.0	21.9
56年	39.9	9.2	49.1	23.1
57年	39.6	9.5	49.0	23.9
58年	38.0	9.7	47.7	25.4
59年	36.7	9.8	46.5	26.7
60年	35.2	10.0	45.2	28.4
61年	33.6	10.2	43.8	30.5
62年	31.8	10.5	42.2	32.9
63年	29.9	10.6	40.5	35.4
64年	28.2	10.8	39.0	38.2
平成2年	26.6	11.0	37.6	41.3
3年	25.3	11.3	36.7	44.7
4年	24.3	11.7	36.0	48.2
5年	23.4	12.1	35.5	51.7
6年	22.6	12.5	35.2	55.4
7年	22.1	13.0	35.2	58.9
8年	21.7	13.6	35.3	62.6
9年	21.4	14.3	35.7	66.7
10年	21.1	15.0	36.1	71.3
11年	20.8	15.8	36.6	76.1
12年	20.5	16.6	37.0	80.9
13年	20.3	17.6	37.9	86.6
14年	20.2	18.6	38.8	92.0
15年	20.2	19.7	39.9	97.8
16年	20.1	20.7	40.8	103.3
17年	20.1	21.8	41.9	108.7
18年	20.1	23.2	43.3	115.3
19年	20.1	24.7	44.9	122.8
20年	20.2	26.3	46.5	130.0
21年	20.3	27.9	48.1	137.5
22年	20.2	29.2	49.5	144.5
23年	20.2	30.0	50.2	148.9
24年	20.1	31.2	51.3	155.0
25年	20.2	33.3	53.5	164.7
26年	20.3	35.3	55.6	173.9
27年	20.4	37.3	57.7	183.1
28年	20.4	38.9	59.3	190.7

図6 年齢構造指数の推移

